

JICA 研修コースの成果に関する報告

南東欧地域 クリーナープロダクション振興

氏名 Marija Mijuskovic

問 1. 現在の仕事内容を教えてください。

モンテネグロ政府の持続可能な開発・観光省における持続可能開発審議会を補佐する部門のアドバイザーをしている。

この部門は、モンテネグロ政府の持続可能な開発課題に関する諮問機関である持続可能開発・気候変動審議会の事務局を担っている。同審議会のメンバーは 21 名で、モンテネグロ大統領が議長を務めている。

同部門の主な業務として、持続可能な開発に関する国家戦略の実施プロセスについてのモニタリングと評価等がある。

問 2. 日本で学んだどのような知識、技能、技術が現在の仕事に活かされていますか？

研修プログラムの目的は達成した。クリーナープロダクション（CP）の概念、CP 促進における官民部門の役割、生産工程や実践におけるさまざまな実施方法について学んだので、今は同僚や関心を持つステークホルダーに対しこうした知識を普及させることができ、クリーナープロダクションとは何かについて説明できる。中小企業から大企業まで、手本となる CP の実践事例をいくつも見学する機会を得た。

クリーナープロダクションはモンテネグロでは比較的新しい概念で、現在策定中の持続可能な開発に関する国家戦略（2014～2020 年）の第一次案に盛り込まれている。

持続可能な開発・観光省および経済会議所が主導する国連工業開発機関（UNIDO）プロジェクト「モンテネグロにおけるクリーナープロダクション」の第 1 および第 2 フェーズにおいて、クリーナープロダクションは一部の中小企業（第 1 フェーズ 4 社、第 2 フェーズ 16 社）ですでに実施に移されている。第 3 フェーズは低炭素観光プロジェクトで、本年 4 月に始まったが、モンテネグロの 5 つのホテルがクリーナープロダクションの概念を実施する予定である。

2013 年 5 月 23 日から 7 月 6 日まで行われた JICA 研修「南東欧州諸国におけるクリーナープロダクションの促進」で学んだ知識のおかげで、UNIDO 研修でもクリーナープロダクション分野について学び続けられ、現在はこの分野の UNIDO 認証取得に向けて取り組んでいる。「南東欧州諸国の持続可能な観光」プロジェクトにおいて、モンテネグロの 5 つのホテルの社会的責任を担当する

同国屈指の専門家として契約している。

また、修士論文における循環型社会の紹介にあたって、大木町やエコタウンの成功例を最優良事例として盛り込んでおり、この論文は年末までに提出する予定である。

問 3. 日本人と JICA に対してメッセージをお願いします。

日本を訪問し、日本の素晴らしい文化について学び、素晴らしい講師陣からクリーナープロダクションの理論と実践について学ぶ機会を得たことにとても感謝している。

いつの日か、みなさんに会い、一緒に働く機会があれば願っている。